

開催  
レポート

# 第2回 事前復興まちづくり ミーティング



令和 **8** 年 **3** 月 **7** 日 **土** 午後 **2** 時 - **5** 時

会場：杉並区役所第5・6会議室（西棟6階）

みなさんは復興後の杉並のまちで

どんな風景（シーン）を見たいですか？

## まちあるきから考える 都市復興の目標づくりワークショップ

- ✓ 実際に自分の目で見たこと
- ✓ 身近な地域の資源
- ✓ 普段感じている課題



復興後の理想的な杉並の  
まちの姿を思い描こう

## 参加者

区民 19名

一般公募：広報やホームページ、Xなどにより募集

## 講師

早稲田大学 社会社会科学総合学院 講師

益子 智之 先生

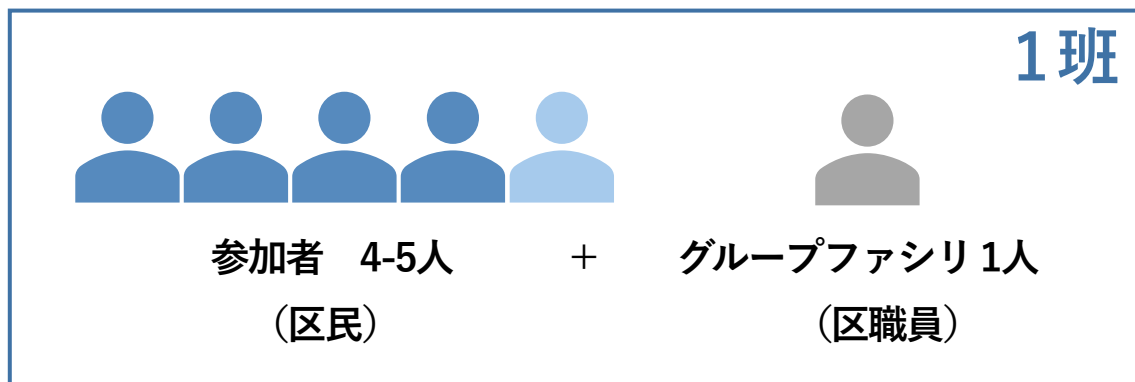
## 事務局

区職員 8名

1. 主管課説明・質疑応答 – 25分
2. 基調講演・質疑応答 – 30分  
「個々人の希望から事前復興のシナリオを考える」  
益子 先生
3. まちあるき – 40分
4. グループワーク – 35分  
ワーク1 まちあるきを振り返り、  
杉並のまちの姿をみつめ直そう  
ワーク2 復興後の理想的な杉並の  
まちの姿をイメージして  
「都市復興の目標」を共に描こう
5. 発表・講評 – 20分

# まちあるき・グループワークの進め方

## グループの編成



4 班 (A～D班)

## まちあるき・グループワークの流れ



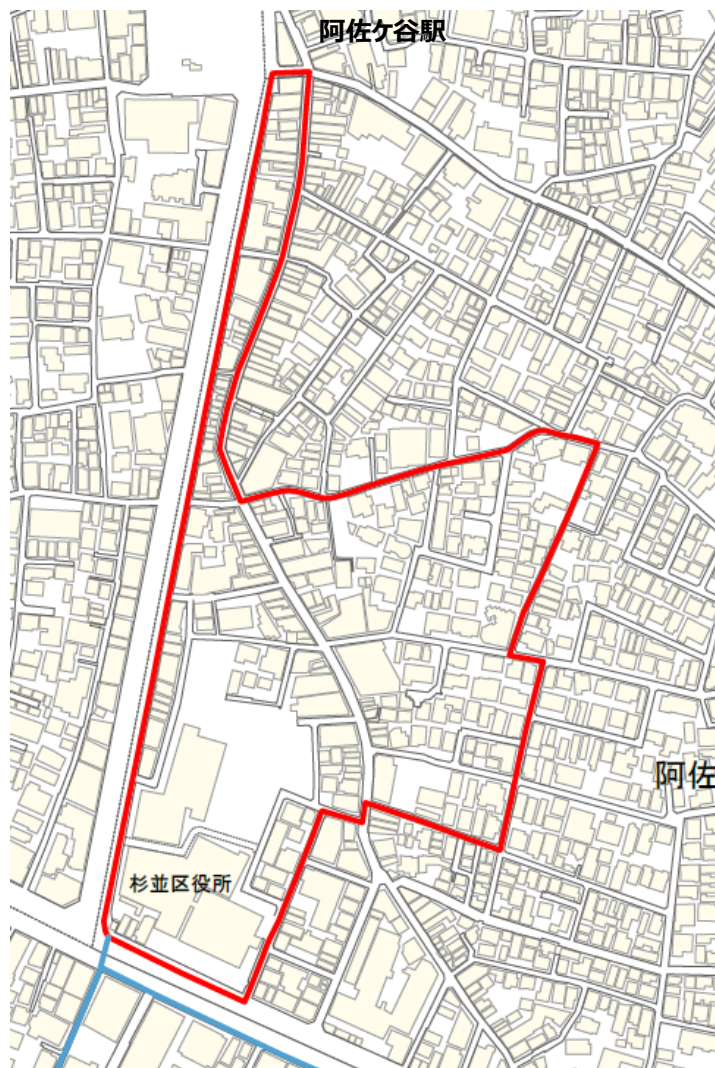
まちあるきのルートやグループワークの詳しい進め方について、次ページ以降にまとめています

# まちあるきのルート

## ルート1：阿佐ヶ谷駅方面ルート

A班 時計回り

B班 反時計回り



① 住宅街

② 駅前・商店街

③ みどりの多いエリア

### まちあるきの視点

区役所周辺のまちには、  
**杉並の特徴**がたくさんあります。

歩きながら、**まちの課題と地域資源**  
＝**復興後のまちの風景のタネ**を  
見つけよう！

生活者の視点で、  
ちょっとした気づきを集めよう！！

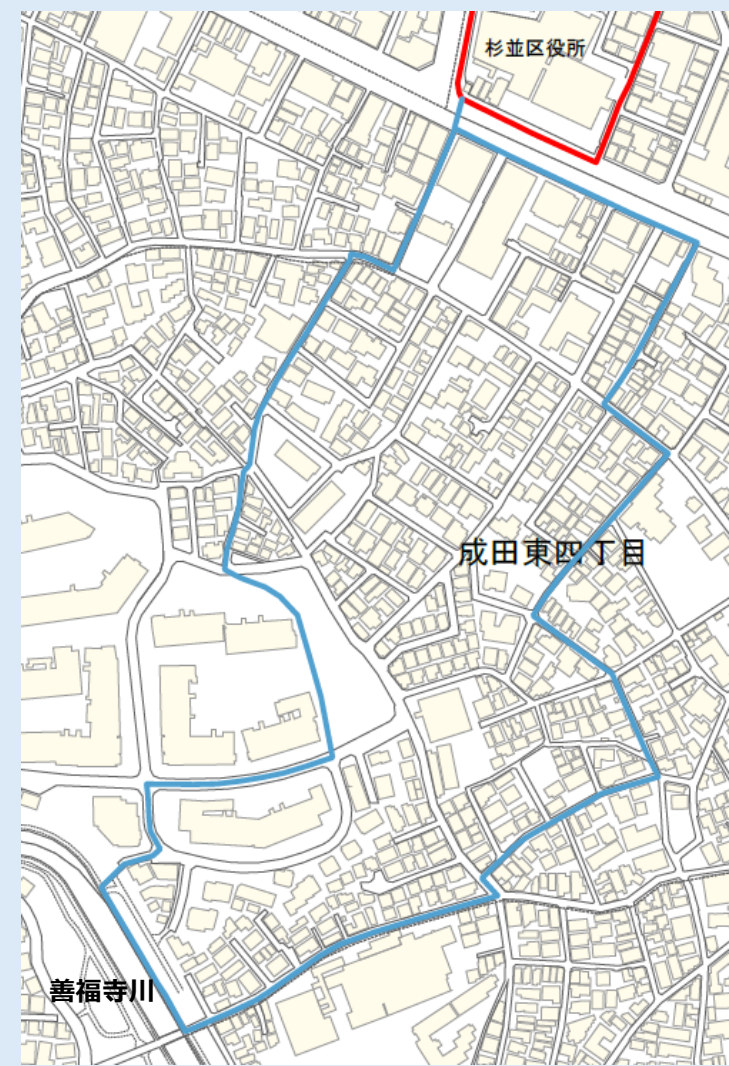
#### 風景のタネ 🌱

“良いと思ったこと”、  
“もっと伸ばしたいもの”、  
“改善したほうがよさそうなもの” 等々

## ルート2：善福寺川方面ルート

C班 時計回り

D班 反時計回り



# まちあるきの様子

## ルート1：阿佐ヶ谷駅方面ルート（にぎわい・住宅街）

① 住宅街

② 駅前・商店街

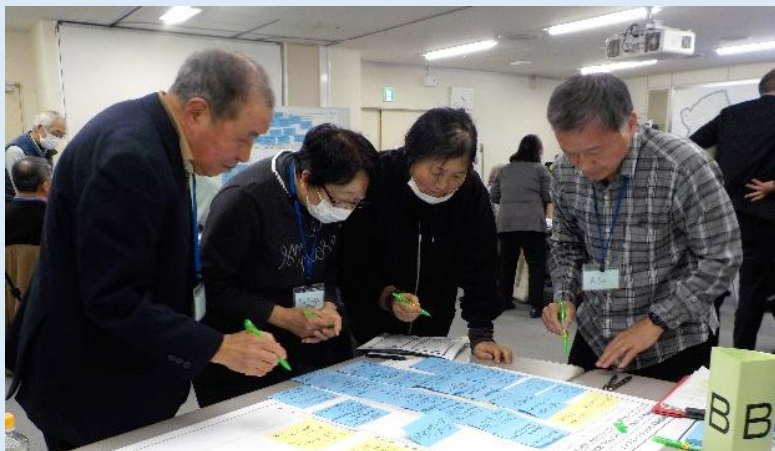


## ルート2：善福寺川方面ルート（みどり・住宅街）

① 住宅街

③ みどりの多いエリア

# グループワークの様子




## ワーク 1

一人ひとりの気づき = 風景のタネを共有しよう

風景のタネ 


“良いと思ったこと”、“もっと伸ばしたいもの”  
“改善したほうがよさそうなもの” 等々

### step 1

まちあるきで見つけた小さな気づき = 風景の  
タネについて、**付箋で共有**  
何枚でも・思いついた分だけ 

### step 2

Step 1 で貼った付箋の中から、今日のルート  
だけでなく、区内の他のまちでも当てはまる  
風景のタネを**色ペンで囲む**

何枚でも・思いついた分だけ 

- ・区内の他のまちでも言えるかもしれないこと
- ・自分の住むまちでも言えそうなこと、取り入れたいこと
- ・参考にしたいこと ・共感したこと

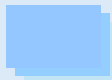


## ワーク 2

復興後のまちで見たい風景（シーン）  
を集めて復興の目標を探そう

### step 1

ワーク 1 の“風景のタネ”を踏まえて、復興後の  
まちで見たい風景やシーン = 都市復興の小目標  
について、**付箋で共有**

何枚でも・思いついた分だけ   
3つのまちの類型ごとに貼る

① 住宅街

② 駅前・商店街

③ みどりの多いエリア

### step 2

グループメンバーの意見について、  
いいなと思った意見に4つに**シールで投票**

ベスト 1     ベスト 2~4 



各グループの成果について、  
次ページ以降にまとめています

## まちあるきで見つけた風景のタネ 🌱 = 復興に向けた“気づき”

- 商店街のアーケードは震災に耐えたなら残したい風景
- 中杉通り電柱が無かった ● 安心できる避難場所がない
- 公園が少ない、でも味のある街
- 狭あい道路を何とかしてほしい
- 同時多発火災、区役所は大丈夫？
- 中杉通り工事多い、足場、工事車両
- アーケードオリジナル消火設備

## 復興後のまちで見たい風景・シーン = 都市復興の小目標

### ① 住宅街

- 井荻のようなゆとりのある道路と住宅
- 人が集まる集会場があればいいな

### ③ みどり

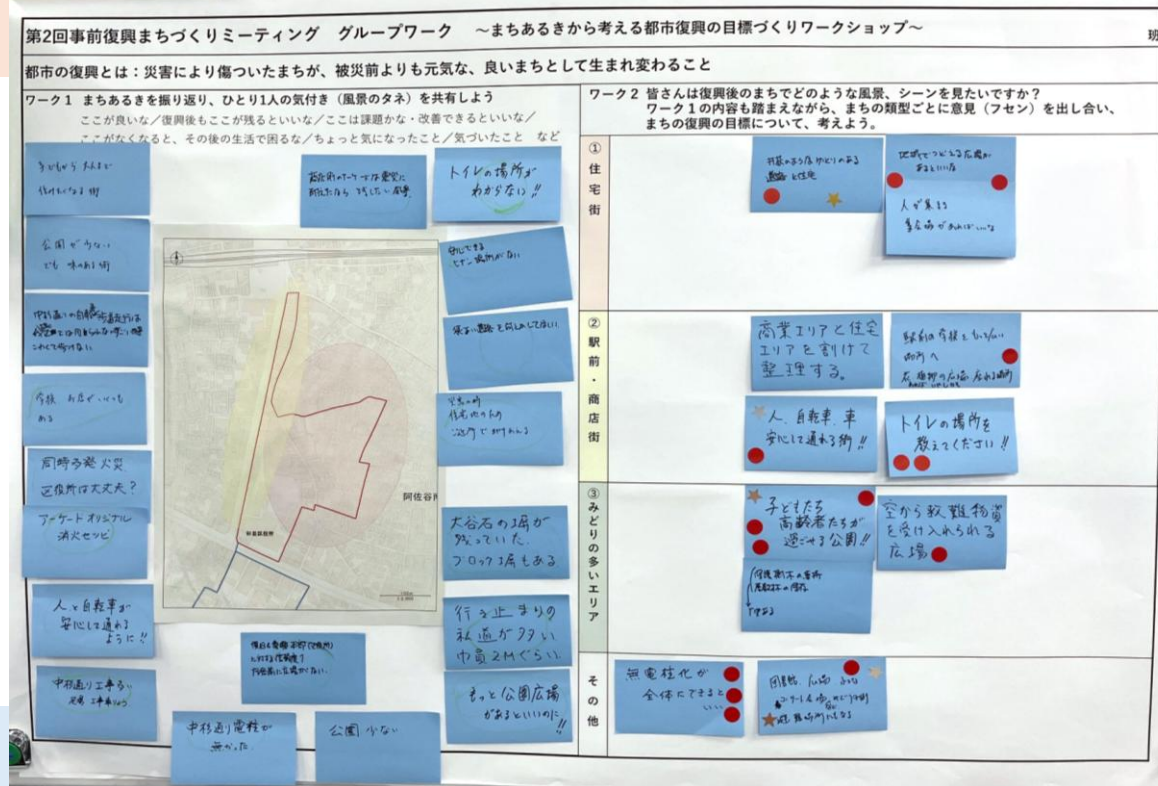
- 子どもたち高齢者たちが過ごせる公園！！
- 空から救援物資を受け入れられる広場

### ② 駅・商

- 人、自転車、車、安心して通れる街！！
- 花植物の広場、座れる場所あればいやしかも
- トイレの場所を教えてください！！

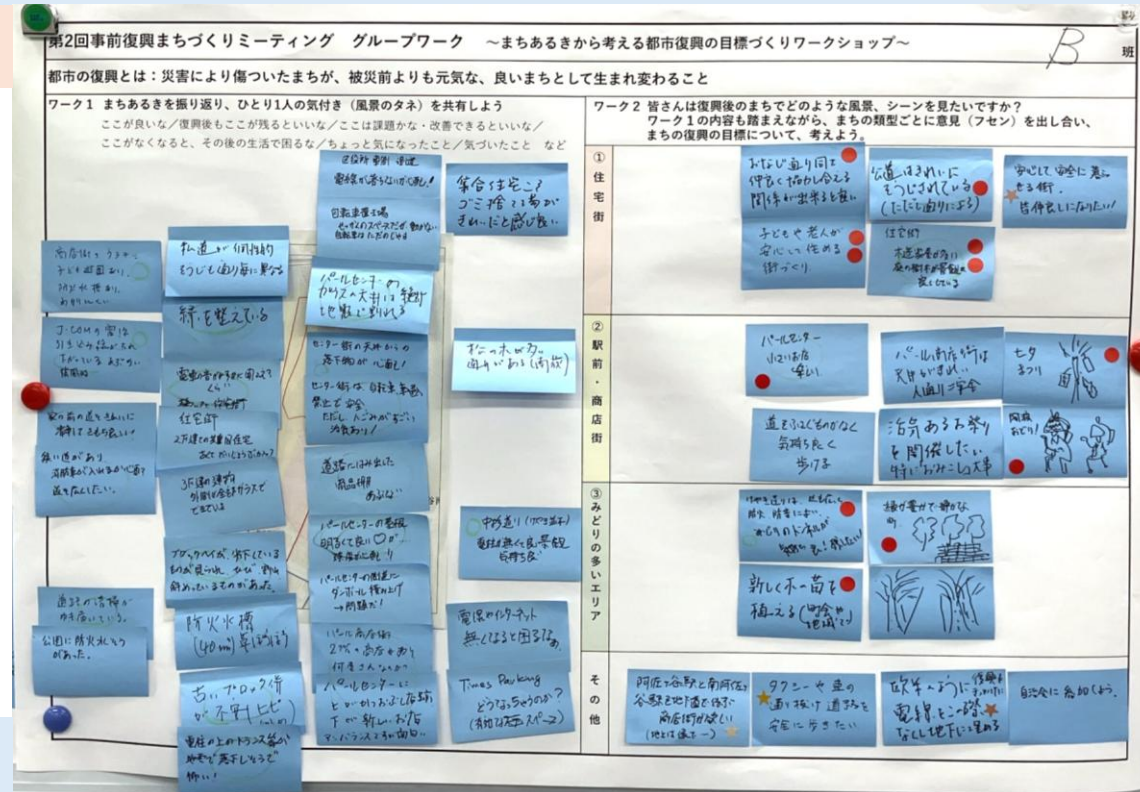
### その他

- 図書館、広場、小さなコンサート会場など、みどりの街、避難場所にもなる
- 無電柱化が全体にできるといい



まちあるきで見つけた風景のタネ 🌱 = 復興に向けた“気づき”

- パールセンターの屋根明るくて良いが強度が心配！！
- 電車の音がかすかに聞こえるくらい静かな住宅街
- 古いブロック塀が不安
- 緑を整えている
- 狭い道があり消防車が入れるか心配？道を広くしたい
- 家の前の道をきれいに清掃して気持ち良い！
- 中杉通り(けやき並木)、電柱が無くて良い景観、気持ち良い



復興後のまちで見たい風景・シーン = 都市復興の小目標

## ① 住宅街

- 庭の樹木が景観を良くしている
- 安心して安全に暮らせる街

## ③ みどり

- けやき通りは道も広く防火防音に良い、みどりのトンネルが気持ち良い！残したい！
- 新しく木の苗を植える

## ② 駅・商

- パールセンター、小さいお店楽しい
- 七夕まつりや阿波おどり
- 活気あるお祭りを開催したい

## その他

- 阿佐ヶ谷駅と南阿佐ヶ谷駅を地下道で結ぶ商店街が欲しい
- タクシーや車の通り抜け道路を安全に歩きたい
- 復興をきっかけに電線をなくし地下に埋める

まちあるきで見つけた風景のタネ 🌱 = 復興に向けた“気づき”

- 善福寺付近の桜は残したい ●電柱の撤去
- 道が狭い曲がっている、もと水路だった跡？
- 4m道路整備 ●避難路標示 ●電柱が多い
- セットバックが出来ていない通りは、帰宅困難エリアになりそうな気がした
- 駅→火災、善福寺川→水害、高低差があり避難経路が状況によって変わる

復興後のまちで見たい風景・シーン = 都市復興の小目標

## ① 住宅街

- 夜間でも目につく避難路標示を全区内に
- 火災に対応した住居地域づくり
- 暗渠→遊歩道、花のきれいな小道になるといい

## ③ みどり

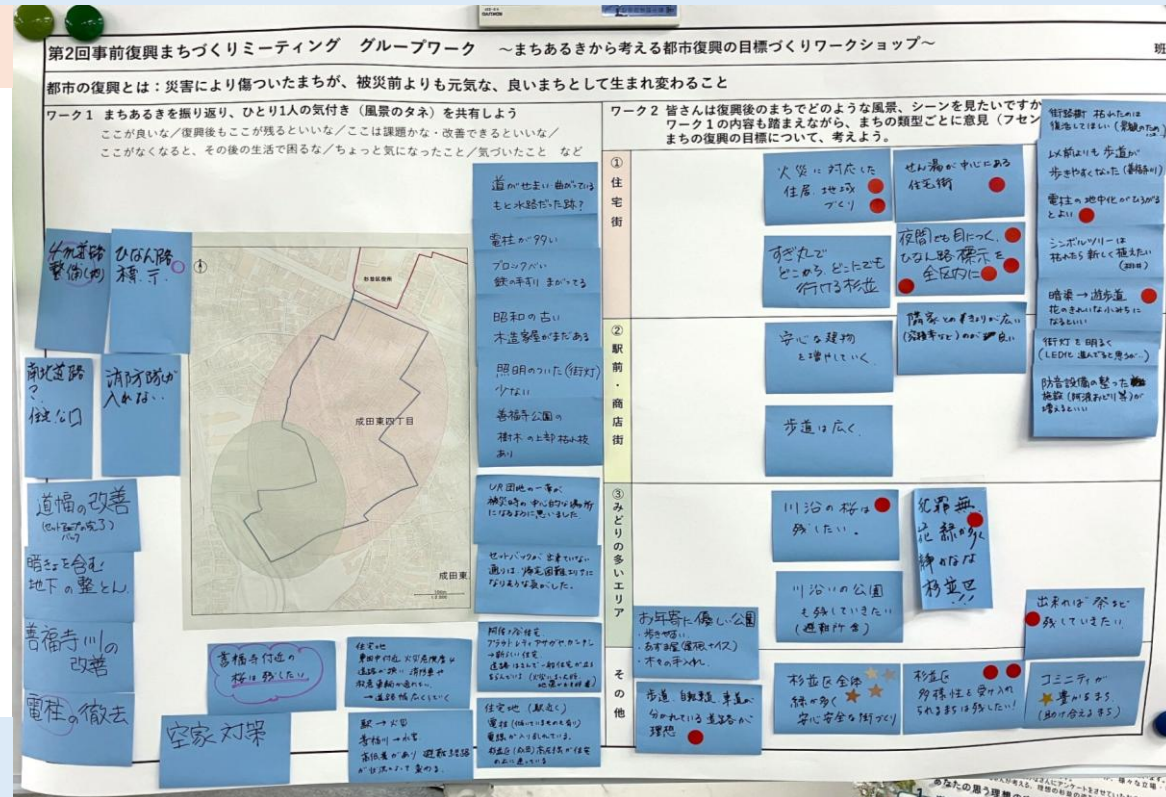
- 川沿いの桜は残したい
- 犯罪無く、花緑が多く静かな杉並区！！

## ② 駅・商

- 街灯を明るく（LED化進んでいると思うが）
- 歩道は広く
- 防音設備の整った施設（阿波おどり等）増えるといい

## その他

- 杉並区全体、緑が多く安心安全な街づくり
- コミュニティが豊かなまち（助け合えるまち）
- できれば祭りなど残していきたい



まちあるきで見つけた風景のタネ 🌱 = 復興に向けた“気づき”

- 便利なのに落ち着いていて空が近く見える
- 駅に近いわりに落ち着いた住宅街
- まっすぐの道が少ない
- 新しい住宅が多い
- 道路が狭く（消防車）通れるかな
- 再開発された地区は緑もあり安心感がある
- 仕方がないけど井戸がなくなっている

復興後のまちで見たい風景・シーン = 都市復興の小目標

## ① 住宅街

- 広い道路ができたらいいな
- 各住宅にそれなりのゆとりと緑

## ③ みどり

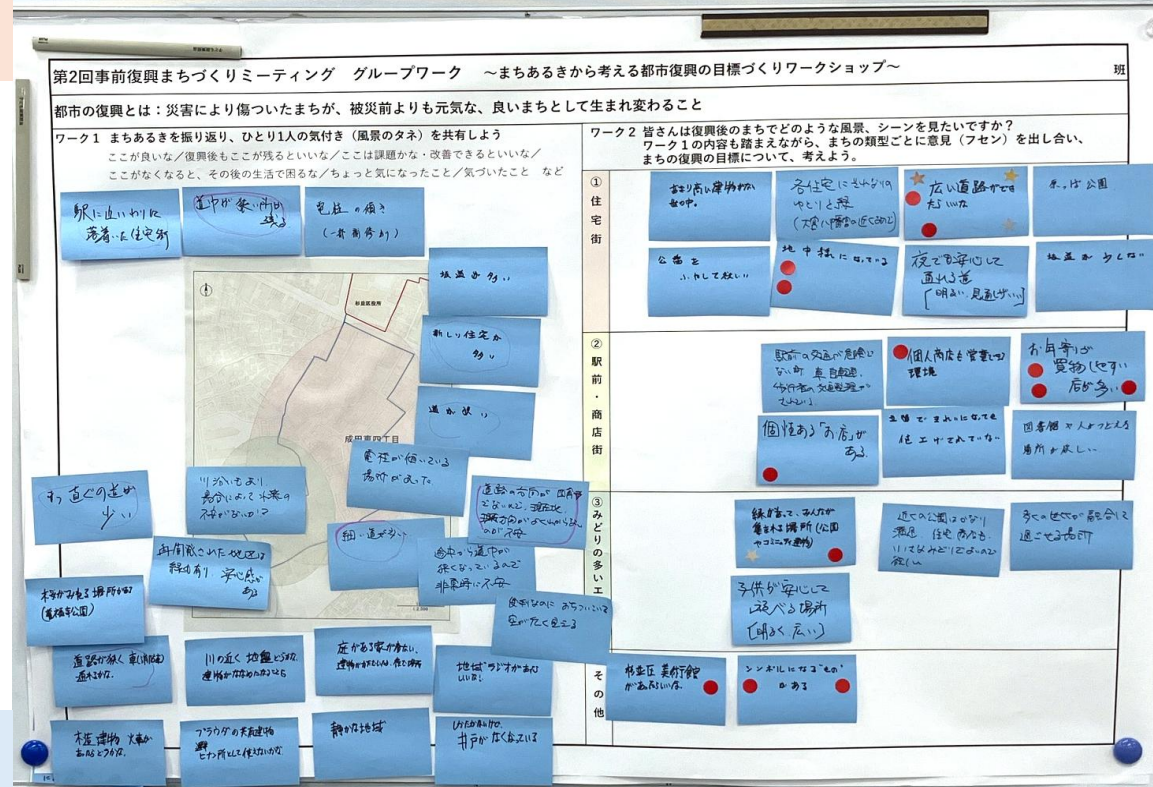
- 緑があって、みんなが集まれる場所
- 多くの世代が融合して過ごせる場所

## ② 駅・商

- お年寄りが買い物しやすい店が多い
- 個性ある「お店」がある
- 駅前の交通が危険でない町

## その他

- シンボルになる”もの”がある
- 杉並区美術館があったらいいな



# 発表の様子



まちあるきで見つけた“風景のタネ 🌱”を、「資源⇔課題」の視点でまとめています

風景の  
タネ 🌱

“良いと思ったこと”、  
“改善したほうがよさそうなもの”  
“もっと伸ばしたいもの” 等々

資源

- 便利なのに落ち着いていて、空が近く見える
- 道路や私道ごとの清掃が行き届いている
- 私道が個性的で、通りごとに特色がある
- ご近所同士で助け合える関係がある
- 静かな地域、新しい住宅も増えている
- UR団地や共有空間を災害時拠点として活かしたい
- 住宅地に身近な公園・広場がほしい
- 地域ラジオなど災害時に情報を共有できる仕組み
- 空家対策（将来の防災・居場所づくりにつなげたい）
- セットバック未完了の道路
- 電柱が多い／傾いている／電線が入り乱れている
- 古い木造住宅、老朽化した共同住宅への不安
- ブロック塀・大谷石塀の劣化（ヒビ、傾き）
- 道が狭い・曲がっている／行き止まり私道が多い

① 住宅街

- 商店街アーケードは残したい風景
- 車・自転車進入禁止で安全、活気がある
- アーケードオリジナル消火設備がある
- 新旧店舗が混在するアンバランスさが面白い
- 中杉通り（駅近く）の電柱が無く景観が良い
- トイレの場所が分かりやすくなる工夫
- 商店街裏手の遊園・防火水槽が見える化したい
- 中杉通りの人と自転車が安全に通れる仕組み
- 区役所前に“集まれる広場”があるとよい
- 工事の足場・車両が多く歩きにくい
- 自転車置き場に動かない自転車が多い
- 歩道の自転車が怖くて歩きづらい
- ガラス天井や屋根の耐震性への不安
- 天井・看板など落下物の心配

② 駅前・商店街

- 善福寺公園や周辺で桜が見られる
- 再開発地区は緑があり安心感がある
- 川や公園が身近にある
- 緑をきちんと整えている場所がある
- 公園にある防火水槽の活用と周知
- 善福寺川の環境改善
- 暗渠を含めた地下空間の整理
- 公園＋住宅＋道路のつながり（南北動線）
- 坂道が多く、避難が大変
- 避難経路が分かりにくい
- 公園樹木の枯れ枝（落下の危険）
- 川沿いの水害リスク
- 地震時、川沿い建物が傾く不安

③ みどりの多いエリア

まちの類型①②③ごとの“復興後のまちで见たい風景（シーン）＝都市復興の小目標”をカテゴリに分けてまとめています

## ① 住宅街

## 1. まちなみ

- ・隣家との距離が広い（容積率など）
- ・あまり高い建物が無い世の中
- ・各住宅にそれなりのゆとりと緑

## 2. 防災・防犯

- ・火災に強い地域づくり
- ・夜間でも目につく避難路標示を全区内に
- ・子どもや老人が安心して住める街づくり
- ・夜でも安心して通れる道
- ・交番を増やしてほしい

## 3. 道路

- ・広い道路
- ・歩きやすい歩道
- ・坂道が少なくない
- ・公道はきれいに掃除されている
- ・電線の地中化がひろがると良い
- ・すぎ丸でどこからどこにでも行ける

## 4. コミュニティ・地域のつながり

- ・地域でつどえる広場があるといい
- ・人が集まる集会場があればいい
- ・同じ通り同士、仲良く協力し合える関係
- ・銭湯が中心にある住宅街

## 5. まちなかのみどり

- ・住宅街、木造住宅が多く、庭の樹木が景観を良くしている
- ・街路樹が枯れたのは復活してほしい
- ・暗渠→遊歩道、花のきれいな小道
- ・原っぱ公園

## ② 駅前・商店街

## 1. 商店街

- ・パールセンター、小さいお店が楽しい
- ・個人商店も営業できる環境
- ・お年寄りが買い物しやすい店が多い
- ・建て替えできれいになっても値上げされていない

## 2. お店・イベント

- ・活気あるお祭り（おみこし）
- ・七夕まつり
- ・阿波おどり
- ・個性ある「お店」がある
- ・個人商店も営業できる環境

## 3. 交流・滞在・コミュニティ機能

- ・駅前の学校を広い場所へ移し、花・植物の広場、座れる場所を整備
- ・図書館や人がつどえる場所が欲しい
- ・トイレの場所を分かりやすく
- ・防音設備の整った施設（阿波おどり等）

## 4. 商業環境

- ・パール商店街は天井がきれい、人通り＝安全
- ・安心な建物を増やしていく

## 5. 交通・道路・歩行環境

- ・歩行者・自転車・車 それぞれが安心して通れるまち
- ・駅前の交通が危険でないまち
- ・歩道は広く
- ・道を塞ぐものがなく、気持ちよく歩ける
- ・街灯を明るく（LED化）

まちの類型①②③ごとの“復興後のまちで见たい風景（シーン）＝都市復興の小目標”をカテゴリに分けてまとめています

### ③みどりの多いエリア

#### 1. 憩いの空間・地域のシンボル

- 歴史ある保護樹木・屋敷林の保存 ・川沿いの桜を残したい
- 川沿いの公園も残していきたい（避難場所含む）
- けやき通りの「みどりのトンネル」を残したい

#### 2. 多世代が過ごせる場所

- 子どもも高齢者も一緒に過ごせる公園
- 多くの世代が融合して過ごせる場所
- お年寄りに優しい公園（歩きやすい、あずま屋、手入れされた木々）

#### 3. みどりの維持・創出

- 新しく木の苗を植える（町会や地域で） ・緑が豊かで静かな町
- 住宅・商店にも小さな緑がほしい

#### 4. 安心・安全

- 犯罪がなく、花と緑が多く静かな杉並区
- 子どもが安心して遊べる明るく広い場所

### その他

- 無電柱化（全体で／欧米のように）
- 歩道・自転車道・車道が分かれている道路
- タクシーや車の通り抜け道路も安全に歩ける
- 図書館、広場、小さなコンサート会場（避難場所にも）
- 杉並区美術館があったらいい
- 杉並区全体、緑が多く安心安全な街づくり
- 自治会に参加しよう
- コミュニティが豊かなまち（助け合える）
- 多様性を受け入れられるまちを残したい
- 祭りなどを残していきたい
- シンボルになる“もの”がある

### ③みどりの多いエリア

### その他

グループワーク全体の総括は  
次ページにまとめています



グループワークでいただいたご意見は、「(仮称)杉並区事前復興まちづくり方針」で定める都市復興の目標に活かしてまいります。貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

まちの類型①②③ごとに“復興後のまちで见たい風景（シーン）＝都市復興の小目標”の要素として、多く聞かれた意見をまとめています

## まちのすがた① 住宅街

- ・ゆとりのある低密度なまちなみ
- ・安心・安全に暮らせる住環境
- ・広くて安全な、誰もが歩きやすい道路
- ・活発な地域コミュニティ
- ・暮らしやすさとみどりが調和したまちなみ

▼  
ゆとり  
コミュニティ  
暮らしやすさ  
安心・安全



## まちのすがた② 駅前・商店街

- ・にぎわいにあふれ、暮らしを支える商店街
- ・個性豊かで楽しいお店・イベント
- ・人が集い、自然に交流が生まれる空間
- ・安心して利用できる商業環境
- ・人にも自転車にも車にもやさしい安全な道路・交通環境

▼  
にぎわい  
個性  
交流  
安心・安全



## まちのすがた③ みどりの多い地域

- ・地域の憩いの場やシンボルとなる身近なみどりの継承と整備
- ・多世代に開かれた交流空間の確保
- ・日常的なみどりの維持・創出
- ・安心・安全なみどりの空間

▼  
憩いの場  
多世代の交流  
みどりの維持・創出  
安心・安全





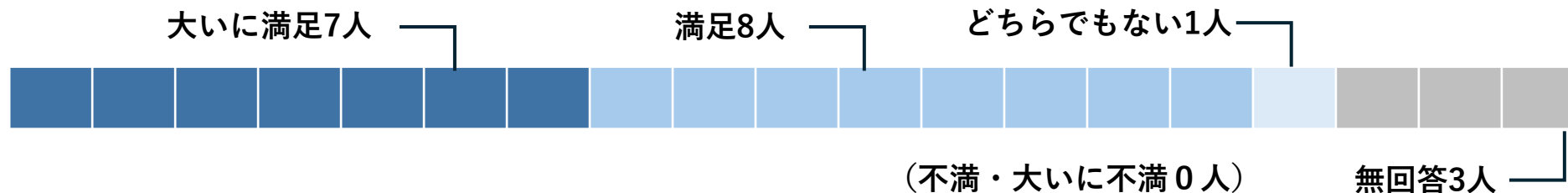
グループワーク・  
発表を受けて  
益子先生からひと言

今回のグループワークでも、さまざまな意見が出てきたことは、皆さんも感じられたと思います。「住みやすいまちにしたい」「安心して暮らせるまちにしたい」といった声に加えて、いざという時の避難については、「公共施設をもっと充実させたい」とか、「トイレの場所が分かるようにしてほしい」といった具体的な意見もありました。また、「個性あるお店を残したい」「多様な世代や国籍の人が共存できるまちにしたい」といった意見も、どのグループからも共通して聞かれたのが印象的でした。

前回の第1回ミーティングに参加された方はご存じかと思いますが、今回のワークでは、より具体的な意見が多く出た一方で、「課題」や「改善したい点」といったところに、やや意識が集まっていたようにも感じました。だからこそ、第1回で出た意見と、第2回で出た意見、その両方をしっかり踏まえながら、今後の方針を考えていくことが大切だと思います。たとえば、阿波おどりのような地域の文化や、行きつけのお店の存在、あるいは「子どもがもっと自由に遊べる公園がほしい」といった声も含めて、そうした一つひとつを大切にしながら、全体の方針に組み込んでいくことが重要だと感じました。

今回のような事前復興まちづくりの取組や、こうした議論の場は、ぜひ今後も継続していただければと思います。

- ミーティング全体の満足度



- まちあるきの感想（自由記述）

- ・杉並は様々な特徴がある町であると思った。中央線と井の頭線ではかなり違います。
- ・これをまとめるのは大変だと感じる。もっと具体的な「事例」を想定して対象を考えることがあってもいい。
- ・もう少しゆっくり歩いていけると良かった。観察したり考える時間など。
- ・実際に足で歩いて、グループの方々と一緒に見て、自分一人では気付かない事に気が付いた。見方を広く持つ必要を感じた。

- グループワークの感想（自由記述）

- ・とてもわかり易く参考にできた。町会でも紹介していきます。
- ・ふせんメモ式はわかりやすくよかった。
- ・ワーク2への導入がもう少し自然な流れである方が良い結果が出ると思った。
- ・たくさんのご意見を聞くことができ、大変楽しい実りの多い時間となりました。

- ミーティング全体の感想（自由記述）

- ・色々なお話が聞けて良かった。
- ・まちづくりについて考えるきっかけになった
- ・「事前復興」ではあるが、減災の観点もかなりあったと思う。
- ・時間・コストがかかるが、大切なことだと評価する。
- ・今後の防災活動に組立てたいです。
- ・初めて参加したが面白かった。